



# 平成31年度 三校合同研修会 教職員研修会開催



- 【生徒指導の三機能】
- ① 自己存在感 (自分はある価値のある存在である。)
  - ② 共感的な人間関係 (互いに尊重し、理解し合う人間関係)
  - ③ 自己決定の場 (自ら考え、判断し、表現する場)

四月十六日(月)、県教育庁参事の當間正和氏をお招きし、伊平屋村離島振興総合センター大ホールにて、伊平屋村職員研修会(三校合同研修会)が開催されました。副題は「あなたは何をするためにこの島にきたのか」と題し、園、小、中、高の全教職員と教育委員会職員等の計五十二名が参加しました。教員になった経緯、夢と希望に満ちあふれた青年教師時代の理想と現実のギャップ、恩師・先輩からのアドバイスで、事に対する意識の変容、子ども達との良好な人間関係づくりなどの経験をお話ししました。伊平屋村では、島のよさを存分に伝えること、地域の教育こそが子ども達の成長の力となることを目指しています。伊平屋村の教育委員会は、教職員一人一人にかかっているという激励の言葉に期待し、大きくうなずく教職員の姿が見られ、大きな成長を遂げました。



『伊平屋の子だからこそ できる教育』  
あなたは何をするために この島にきたのか

県教育庁 参事 當間 正和 氏

拓く子ども達を代表して伊平屋中学校の渡久地長子教諭からは「島を拓いていきたい」と決意を含めたお礼のあいさつがありました。伊平屋村での『島発ち教育』は、人・地域づくりに貢献する教師、地域の教育資源・人材を生かした学級経営を目指す教師、常に学び続ける教師を必要としています。学校と地域、そして行政が連携していくことで、最終的には子ども達の成長につながる。進めたいと考えています。子ども達の成長に向けた取組を協力に

## てるしの塾 開講

四月九日(火)、伊平屋村離島振興総合センター大ホールにて、てるしの塾開講式が生徒・保護者・教職員参加の下、開催されました。塾は島内全中学生を対象にして今年で四年目となり、火・水・木の週三日行われています。各自が強い学習意欲と向上心を持ち、将来の夢を実現できるように支援強化し、将来の地域を担う人材を育成することを目的としています。次の点を徹底します。

- ① 「確かな基礎学力」の定着
- ② 「粘り強く取り組む力」の育成
- ③ 「気づき、悩み、解決する力」の習得

時間、学校の要望に塾講師が応えていただく形で、塾開講式に英語検定試験対策の授業が始まりました。やる気あふれる塾講師の先生方と学校の教職員が両輪のように連携し、生徒を徹底的に鍛えていくものと期待しております。

## 伊平屋出身高校生激励会

四月二十七日(土)、名護市地区伊平屋村出身高校生激励会が開催され、郷友会(いわと会)主催の下、開催されました。



第一部は、高校生・いわと会参加者の激励会、第二部は、副会長・教育委員、教育委員会職員なども加わっての懇親会となりました。伊平屋村長からは、高校生への激励の言葉を頂くことができました。高校生の激励の言葉が、子ども達の今後の進路報告では、部の報告があり、その後、伊平屋村長・副会長・部員など、激励の言葉を述べました。激励会を予定して、